

夏の学校開放プール

一般の市民の皆さんに市内の小学校・中学校のプールを無料で開放します。



青嵐中学校

▽開放日 日程表参照

▽開放時間 ①午前10時～正午 ②午後1時30分～3時30分 (総入れ替え制)

青嵐中学校は、施設の管理上の面から、校舎1階で集合・解散していただくこととなりますのでご了承ください。

▽対象 小学校5年生以上の一般市民

田無小学校・けやき小学校

▽開放日 日程表参照

▽開放時間 ①午前10時～正午 ②午後1時30分～3時30分 (総入れ替え制)

けやき小学校は、施設の管理上の面から、体育棟1階で集合・解散していただくこととなりますのでご了承ください。

▽対象 一般市民

ただし、おむつのとれた2歳以上の幼児については、幼児2名に対し必ず水着着用の保護者1名の付き添いが必要になります。

なお、介助が必要な方についても必ず水着着用の介助者等が付き添ってください。

(プールの水深は最大120cm)

▽申込み 午前10時または午後1時30分までに直接会場においてください。

▽利用条件 ①自転車は所定の場所に止めること。②車での来校は禁止します。③飲食物を持ち込まないこと。④化粧品(日焼け止めを含む)は落として泳ぐこと。⑤必ず水着、水泳帽を着用すること。⑥貴金属類は外して泳ぐこと。⑦監視員の指示に従うこと。

平成22年度 学校開放プール日程表

田無小学校	7月31日(土)・8月 1日(日) 8月 7日(土)・8月 8日(日)
けやき小学校	8月14日(土)・8月15日(日) 8月21日(土)・8月22日(日) 8月28日(土)・8月29日(日)
青嵐中学校	7月31日(土)・8月 1日(日)

社会教育課

042(438) 4079

ち込まないこと。④化粧品(日焼け止めを含む)は落として泳ぐこと。⑤必ず水着、水泳帽を着用すること。⑥貴金属類は外して泳ぐこと。⑦監視員の指示に従うこと。

栄小学校 創立40周年

校長 矢野 尊久

本校は昭和45年に保谷第一小学校、中原小学校より619名の子どもたちを迎えて創立しました。現在まで4,571名の卒業生が、本校の教育目標にふさわしい、創造する子、勤労を喜ぶ子、協力する子として立派に元氣よく巣立っていきましました。5月25日に行われた創立記念式典では、西東京市長をはじめ150名以上のご来賓の出席を頂き盛大に挙行することができました。式典では5・6年生による合唱と6年生による器楽演奏が行われ、40年の歴史にお礼と感謝を言葉と音楽で表しました。



6年生による器楽演奏

また、式典の最後には本校校歌作曲者である創立当初の音楽の先生の指揮で校歌斉唱が行われ式典を締めくくりました。

西東京市 小・中連携の取組

「中1ギャップ」という言葉をご存じでしょうか。中1ギャップとは、小学生から中学校1年生に進学し、学習や生活の変化になじめず、心に不安を抱える生徒が増えることをいいます。

小学校6年生の児童に、中学校の生活についてアンケート調査を行ったところ、全体の80%を超える児童が何らかの不安を感じていることがわかりました。これらの悩みを解消するためには、小学校から中学校へのよりスムーズな接続ができるよう連携を図ることが必要です。

そこで、教育委員会では、今年度から毎年6月第2水曜日を、「西東京市小・中連携の日」とし、市内全小・中学校が近隣の学校とグループを組み、授業参観と協議等を通して理解を深めるようにしました。



授業の様子

授業参観後の協議会では、中学校入学後の状況について情報交換を行ったり、授業改善に焦点を絞った話し合いを行ったりして、小・中学校の系統性のある指導の充実につなげています。



協議会の様子

また、教育委員会では、研究奨励事業の一つとして、小・中連携に視点を当てた研究を進めています。

平成18・19年度は本町小学校と保谷中学校が、平成20・21年度は東小学校と明保中学校が研究・実践を行い、教科や生活指導等の連携を深めることができました。

今年度は、保谷第一小学校・栄小学校・青嵐中学校が小・中連携の研究を推進していきます。



東小学校・明保中学校の小・中連携についての研究発表(平成22年1月)

「西東京市小・中連携の日」の成果や課題と小・中学校の連携を中心とした研究を生かし、これからも中1ギャップの解消や9年間を見通した学習指導や生活指導等の充実が図られるように取り組んでいきます。

◆教育指導課 042(438) 4075

西東京市文化財 シリーズ 西浦地蔵尊

西浦地蔵尊は、保谷町5丁目12番24号の五差路、田柄用水脇にある石造物で、台石、蓮華台座、地蔵をあわせて、総高約126cmです。地蔵と台座、台石はコンクリートで固定されており、地蔵の顔は磨滅してしまっています。江戸時代に田無宿が盛んであった頃、唐使に耐えかねた飯盛女が北に向かつて逃げたところを、このあたりで捕らえられて折檻され、首をくくったことから、供養のために享保4(1719)年に建立したと伝えられ、「北向地蔵」とも呼ばれています。台石の銘文によると正面には「享保四己亥曆 奉造立 地蔵尊念仏講中 九月吉



文化財保護審議会委員 都築 恵美子

子ども記者コーナー②

生き続ける桜

保谷中学校には、桜の木があまりありません。でも、私たちがその風景を知りません。私たちが入学する前に伐採されたからです。今、保谷中の宝物として大切にされている「不惜精進」の額、体育館や部活の更衣場所の椅子などの木製品は、業者の方や主事さんに頼んで、伐採された桜の木を加工していただいたものなのだそうなんです。桜の木の伐採は道路の建設とそれに伴う体育館の建て替えのためだったそうです。現在、保谷中の東側で道路建設が進められています。この道路は調布から西東京を通り埼玉県新座へと南北を結び、渋滞を緩和することを目的としているそうです。

保谷中学校 本橋 遥香

